

## 平成27年度 事業報告

### 【基本方針】

現在、65歳を迎えた団塊の世代が労働市場からの引退過程にあり、加えて、少子化、核家族化が進む中、シルバー人材センターは、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進により、地域社会の活性化に貢献しています。

本年度においては、中期事業計画を踏まえ、会員及び役職員が一体となって、センター理念である「自主・自立、共働・共助」を基本におき、まずは、会員の増強に取り組むため、入会説明会を毎月2回開催し即時に登録できるシステムとし、翌週には、新人研修会を行い、センター事業の在り方や就業形態、接遇研修、就業情報の提供により、会員数は、前年度より96名増の1,431名となりました。

また、シルバー派遣事業においては、積極的な就業開拓活動を進めた結果、前年度に比べ37,053千円の増で、135,292千円となり、受託事業を合わせた実績額は、前年度に比べ4.8%アップの735,587千円となりました。

一方、経営基盤となる収支決算では、電話通話料の節減や事務消耗品等を削減した結果、当期収支差額では、1,603千円の黒字となりました。

以下、事業実績等についてその概要を報告いたします。

## I シルバー人材センター事業（公益目的事業）

### 1 高齢者の生きがいと社会参加の促進

高齢者の生きがいと福祉の向上を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者の入会促進に努め、又、就業上必要な技能及び知識を付与することにより、高齢者の能力や希望を生かした就業機会等を実現し、多様なニーズに応えました。

#### （1）会員の入会促進事業

高齢者の入会を促進するために、入会説明会を毎月2回実施し、287人の方が入会し、会員数は前年度より96人多い1,431人となりましたが、目標会員数の1,460人は、達成できませんでした。

#### （2）受託等事業

公共、公社公団、民間企業、一般家庭などへ、会員の豊富な経験や能力を生かせる就業機会の開拓に努め、会員の皆さんにそれぞれの希望や能力に応じた就業提供を行いました。

### ① 受託事業

契約件数は、13,065件(△3.2%)で前年度と比較し430件の減となり、また、就業延人員は、123,270人(△0.7%)で前年度と比較して885人の減となりました。契約金額は、600,295千円で、前年度と比較し3,221千円(△0.5%)の減となりました。

### ② シルバー派遣事業

契約件数は、197件(18.0%)で前年度と比較し30件の増となり、また、就業延人員は、29,528人(39.6%)で前年度と比較して8,378人の増となりました。契約金額は、135,292千円で、前年度と比較し37,053千円(37.7%)の増となりました。

### ③ 目標数を上回った合計

就業延人員 152,798人 (前年度比 5.2%)

契約金額 735,587千円 (前年度比 4.8%)

## (3) 講習会等の推進事業

生きがいや社会参加のための就業を希望する高年齢者を対象に、シルバー人材センターで就業が見込める技能・知識の講習を行い、就業機会の実現に努めました。

- ① 剪定班ランクアップ研修を2回実施、12名がランクアップ
- ② 剪定班新人養成研修を2回実施、21名が受講
- ③ シルバーふれあい教室では、新しい教室の実施に向け、スキルアップ研修を6回実施、延べ65名が受講

## (4) シニアワークプログラム地域事業

一般の高年齢者を対象とした、就職・就業の促進を図るシニアワークプログラム地域事業を県連合会と共同で下記4講習を実施しました。

- ① 保育サービス講習、16名が受講
- ② 介護職員初任者研修、19名が受講(内会員2名)
- ③ フォークリフト技能講習、15名が受講(内会員5名)
- ④ パソコン実務講習、22名が受講(内会員3名)

## (5) 相談支援事業

高年齢者ニーズ(就業、ボランティア活動等)に関する相談、情報提供を行うことにより、高年齢者の能力や希望を生かした就業等の社会参加活動を推進しました。

- ① 地区ブロック単位での就業相談を4回実施、就業提供等を行いました。
- ② なんでも相談を毎月第1・3火曜日に実施、延べ28人の相談を受け、就業提供等を行いました。

## 2 普及啓発と就業機会の確保・拡大

### (1) 普及啓発事業

センター事業が各界各層に正しく理解されるよう、普及啓発活動を積極的に推進しました。

- ① “生き生きシルバー人材センター” 普及啓発促進事業を、ふれあい健康館1階ギャラリーで、シルバー手づくりふれあい教室のバルーンアートや木工遊びで、約30人の子どもたちと遊びふれあい、また大人約270人にセンター事業の概要説明を行い、就業開拓や入会案内のチラシ、ポケットティッシュ、手漉き和紙のしおりを配布しました。  
また、シルバー花の土を先着200名にプレゼントしました。
- ② 問屋町「日曜日」で普及啓発活動を2回行い、シルバー花の土を先着600名にプレゼントしました。
- ③ 会報誌「シルバーとくしま」を年3回発行し、会員及び各種団体にセンター活動の情報を提供しました。
- ④ ホームページにセンター事業活動の情報をアップしPRしました。

### (2) 就業機会の確保・拡大事業

公共事業、民間企業、一般家庭及び関係団体等に高年齢者の就業についての理解を求め、会員の運営参画による就業機会の確保と拡大に努めました。

- ① 就業開拓・促進委員会を年5回開催、新事業として「ふるさと徳島サポート事業」を策定しました。
- ② 就業開拓戦略会議を9回開催、就業開拓の現状と問題点等を協議し、特に運転業務における問題点の洗い出しとその対策について協議しました。
- ③ 受託事業やシルバー派遣事業の新規就業先としての法人事業所など、就業開拓推進員3名が新たな就業機会の場の確保を図りました。
- ④ ホームページにより就業情報を提供し就業に繋げました。

### (3) 福祉・家事援助事業（ライフサポートサービス事業）

- ① 福祉・家事援助サービス事業
  - ・福祉サービスでは、高齢者、障害者、病弱者などを対象に介助・その周辺業務などのサービスを提供しました。
  - ・家事援助サービスでは、個人家庭の掃除・洗濯・買物・食事の支度・な

どの家事全般のサービスを提供しました。

契約件数は、1,610件(△9.0%)で前年度と比較し160件の減となり、また、契約金額は、33,981千円(△9.3%)で前年度と比較し3,467千円の減となりました。

#### ② 軽度生活援助事業

・徳島市からの委託事業で、認定された高齢者への生活援助サービスを提供しました。

契約件数は、対象が非課税世帯に限定されたため815件(△18.2%)で前年度と比較し181件の減となり、また、契約金額は、1,331千円(△17.7%)で前年度と比較し286千円の減となりました。

#### ③ 産前・産後家事育児支援事業(ママに安心ヘルプ事業)

・徳島市からの委託事業で、産前産後の一定期間に、家事や育児を援助してくれる人がいない妊産婦に対して、家事育児を援助するサービスを提供しました。

契約件数は、82件(121.6%)で前年度と比較し45件の増となり、また、契約金額は、346千円(126.7%)で前年度と比較し193千円の増となりました。

### (4) 女性活動活性化事業

シルバー人材センターにおける女性会員の活動の充実や活性化に関する事項を協議、検討し、その対策を推進するため、女性活動推進委員会を設置し、次の事業を実施しました。

- ① 女性活動推進委員会を年3回開催、女性活動活性化を図る協議検討を行いました。
- ② 女性会員の入会促進のため、女性会員募集「チラシ」2,000部と「のぼり」を2種類作成し、PR活動に活用しました。
- ③ 女性会員の就業機会の確保推進として、交流サロン「やまもも」を第3月曜日に年7回開催、女性理事を中心として物づくりや就業機会の発掘に努めました。
- ④ 「シルバー手作りふれあい教室」事業は、徳島市と連携して土曜日や長期休暇中などの放課後児童クラブに会員が訪問し、工作、バルーンアート作り、手品など20種類の教室を用意し、希望のあった教室を実施し、地域の高齢者と子どもたちの世代間のふれあいを通して、児童の健全育成支援を行い、夏休み・冬休み・春休みの期間に52回実施しました。就業延人員は175人、参加児童数は2,059人でした。

- ⑤ 「地域ふれあい教室」事業として、試験的にセンター多目的室を日曜日に3回開放し、地域の方と楽しみながら交流し、工作や手漉き和紙づくりなどの教室を実施しました。
- ⑥ 毎日新聞の地域欄に「ふれあい教室人気」「女性会員増加」の記事が掲載されました。

### 3 安全・適正就業の推進

会員の就業にあたっては安全就業を最優先し、各種安全啓発活動を通して会員の安全就業を推進しました。また、就業内容や就業形態については、適正な内容での受注を行いました。

#### (1)安全就業推進事業

シルバー人材センター事業の運営において、会員の安全就業が最重要課題であり、会員の就業中の傷害・賠償事故及び就業途上における事故の防止対策については、安全・適正就業委員会を中核に下記の事業に取り組みました。

- ① 委員会を6回開催し、事故原因の分析と防止策の検討や事故防止の啓発活動を実施するとともに、就業現場の巡回指導を2回実施し安全就業の指導に努めた結果、途上の傷害と損害賠償事故の減少に繋がっています。

○会員傷害・損害賠償事故発生状況 (単位:件)

区 分		H25年度	H26年度	H27年度
傷害 事故	就業中	10	10	8
	途 上	10	8	4
	計	20	18	12
損害賠償		5	5	4
合 計		25	23	16

- ② 接遇研修として、地区総会に於いてマナー研修を実施。また、入会受付時に安全就業のビデオを放映し、これから就業に付くための安全就業の意識の向上を図りました。
- ③ 刈払機安全研修を実施し、就業会員31名が座学と実技を学び安全就業に努めました。
- ④ 啓発活動としては、会報誌に事故内容を掲載し、安全意識の向上を図りました。また、熱中症見舞金制度について全会員に知らせました。

## (2) 適正就業推進事業

受託事業の就業における内容や形態は、適正な内容で受注し、公平・公正な就業提供を行い、コンプライアンスを徹底し、安全・適正就業委員会を中核に下記の事業に取り組みました。

- ① 委員会を6回開催し、受託事業になじまない就業は、シルバー派遣事業として積極的に取り組み、適正な就業に基づき、ローテーション就業やグループ就業に努めました。
- ② 分かち合い就業に関する要綱に基づき、公共、公社・公団事業の就業場所の情報を提供し、選考基準に基づき12名が就業しました。

## 4 組織体制の充実強化

シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」を基本とし、会員による自主的な組織運営を促進しました。

### (1) 地区組織活性化事業

- ① 地区組織活動の活性化を図るため、地区長委員会を2回開催すると共に、年1回の地区総会を自主的に開催し、センター情報の提供や会員相互の意見交換を行い組織活動の充実を図りました。
- ② 出席率40%の目標を掲げ、地区総会では4地区、ボランティア活動では1地区が達成しました。

### (2) 職域班組織活性化事業

- ① 職域班組織活動の活性化を図るために、年1回の職域班総会を2職域班が開催、ボランティア活動としては2職域班が実施し、班員同士が情報を共有し班組織活動の充実を図りました。
- ② 技術・技能向上のため、2職域班が研修会を開催し、安全就業の徹底や技能・知識の向上に努めました。
- ③ 軽作業班では、グループ班長会議を4回開催、地区のブロック会議を1回開催し、就業マニュアルの徹底と今後の取り組みを協議しました。

## 5 防災対策推進事業

今後30年以内に南海地震が発生する確率は70%程度と予測されており、東日本大震災を教訓とし、センターにおいても地震防災対策の必要性や重要性を再認識し、地震や自然災害に備える必要があり、電子データの管理体制としてバックアップ装置を設置し、データ喪失のリスクを軽減しました。

## 6 指定管理者業務の推進

徳島市立考古資料館の指定管理者として、考古資料館事業推進委員会を3回開催し業務を推進しました。

## 7 その他

(1) 徳島県シルバー人材センター連合会が行う下記事業に参画しました。

- ・ シルバー派遣事業
- ・ 有料職業紹介事業
- ・ 役職員研修
- ・ 普及啓発活動
- ・ 安全・適正就業推進事業
- ・ シニアワークプログラム地域事業
- ・ 災害ボランティアネットワーク事業

(2) 全シ協、四シ協主催の研修に参画しました。

## II 法人管理

### 1 諸会議の開催

センターの管理運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました。

会 議 名	開催回数
定時総会	年1回
理事会	年7回

### 2 センター事務局機能の充実

公益社団法人としての適正な運営と円滑な事業推進を図るため、センター職員の資質向上に努めました。

### Ⅲ 事業実績報告

#### 1. 会員数

(単位:人)

区 分	H27 年度 A	H26 年度 B	差引 (A-B)	伸率(%)	構 成 比 %		
					H27	H26	
会員数	1,431	1,335	96	7.2	100.0	100.0	
内 訳	男性	878	840	38	4.5	61.4	62.9
	女性	553	495	58	11.7	38.6	37.1

(会員数は年度末数値)

#### 2. 会員就業動向

(単位:人)

区 分	H27 年度 A	H26 年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
就 業 実 人 員	1,007	975	32	3.3
就 業 延 実 人 員	22,647	23,559	△912	△3.9
就 業 延 人 員	123,270	124,155	△885	△0.7
就 業 率	70.4	73.0	△2.6	△3.6
一件当りの就業日数	5.4	5.3	0.1	1.9

※ 就業率 = (就業実人員 ÷ 会員数) × 100

※ 就業一件当りの就業日数 = 就業延人員 ÷ 延実人員

#### 3. 受託事業契約動向

(単位:千円)

区 分	H27 年度 A	H26 年度 B	差引 (A-B)	伸 率 %	構 成 比 %		
					H27	H26	
契 約 件 数	13,065	13,496	△431	△3.2	100.0	100.0	
内 訳	公 共	2,111	2,226	△115	△5.2	16.2	16.5
	民 間	10,954	11,270	△316	△2.8	83.8	83.5
契 約 金 額	600,295	603,516	△3,221	△0.5	100.0	100.0	
内 訳	公 共	177,482	170,075	7,407	4.3	29.6	28.2
	民 間	422,813	433,441	△10,628	△2.5	70.4	71.8

※ 契約件数は月1件の累計数値



#### 4. 受託事業職業別実績

(単位：千円)

職 業	契 約 件 数	就業延人員 (人)	契 約 金 額	構 成 比 (%)		
				契 約 件 数	就業延人員	契 約 金 額
管 理 的	0	0	0	0.0	0.0	0.0
専 門 的・技 術 的	133	1,657	12,425	1.0	1.3	2.1
事 務 的	184	2,260	12,212	1.4	1.8	2.0
販 売	14	60	266	0.1	0.1	0.0
サ ー ビ ス	3,066	27,696	120,579	23.5	22.5	20.1
保 安	0	0	0	0.0	0.0	0.0
農 林 漁 業	2,380	8,562	82,392	18.2	7.0	13.7
生 産 工 程	428	3,098	17,429	3.3	2.5	2.9
輸 送・機 械 運 転	1	60	257	0.0	0.0	0.0
建 設・採 掘	199	587	10,210	1.5	0.5	1.8
運 搬・清 掃・包 装 等	6,660	79,290	344,525	51.0	64.3	57.4
計	13,065	123,270	600,295	100.0	100.0	100.0

#### 5. 会員就業配分金動向

(単位：千円)

区 分	H27 年度 A	H26 年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
配 分 金	479,988	484,974	△4,986	△1.0
会員就業 1 日当り 平均配分金 (円)	3,894	3,906	△12	△0.3

※ 会員就業 1 日当り平均配分金=配分金÷就業延人員

## 6. シルバー派遣事業職業別実績

(単位：千円)

職 業	契約 件数	延人員 (日)	会員賃金 A	手数料等 B	合 計 (A+B)
管 理 的	0	0	0	0	0
専 門 的 ・ 技 術 的	4	404	1,460	363	1,823
事 務 的	8	519	2,089	588	2,677
販 売	20	734	3,743	1,009	4,752
サ ー ビ ス	51	11,323	37,459	9,230	46,689
保 安	0	0	0	0	0
農 林 漁 業	4	935	3,412	840	4,252
生 産 工 程	27	3,996	14,703	3,779	18,482
輸 送 ・ 機 械 運 転	31	5,160	20,342	5,285	25,627
建 設 ・ 採 掘	2	240	886	214	1,100
運 搬 ・ 清 掃 ・ 包 装 等	50	6,217	23,276	6,614	29,890
計	197	29,528	107,370	27,922	135,292

(うち徳島市手数料等 13,548,347円)

## 7. 会員賃金動向

(単位：千円)

区 分	H27 年度 A	H26 年度 B	差 引 (A-B)	伸 率 %
会 員 賃 金	107,370	78,389	28,981	37.0
会員就業 1 日当り 平均賃金 (円)	3,636	3,706	△70	△1.9

※ 会員就業 1 日当り平均賃金=会員賃金÷就業延人員

## 8. 有料職業紹介事業実績

項目 業務等	求 人				求 職		
	有 効 求 人 数	常 用 求 人 数	臨 時 求 人 延 数	日 雇 求 人 延 数	常 用 就 職 件 数	臨 時 就 職 延 数	日 雇 就 職 延 数
〇〇職業	0	0	0	0	0	0	0